

事業番号	02 06 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）				■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	バス等振興対策事業費				部局	企画振興部	課・室	交通政策課	
					実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係									
政策の柱	持続可能で安定した暮らしを守る								

1 現状と課題

- ・人口減少の本格化に加え、コロナ禍が重なり、路線バスを始めとする公共交通を民間事業者の独立採算により維持していくことは困難な状況。
- ・アフターコロナを見据え、観光客を含む利用者の利便性向上を図る取組の必要性が増しているが、公共交通機関のキャッシュレス化や公共交通情報のオープンデータ化が遅れている。

2 事業目的

- ・持続可能な地域公共交通の確保・維持
- ・利用者が公共交通機関で目的地まで行く際に円滑に移動できる環境の整備

3 事業目的を達成するための取組

- ①地域間幹線バス路線の確保・維持
- ・地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者に対し、運行欠損費を補助
 - ・バス車両のバリアフリー化や老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者に対し、低床バスの減価償却費等を補助
 - ・県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者へ貸与
- ②持続可能で最適な地域公共交通システムの構築
- ・公設民営化を含む持続可能な地域公共交通の確保に向けた仕組みを検討
 - ・複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画策定に係る費用を支援
 - ・交通専門家と多様な分野（ICT,観光等）の知見者を市町村へ派遣
- ③MaaSの基盤づくり
- ・県内公共交通機関におけるキャッシュレス化を推進するため、地域連携ICカードの導入に係る費用を支援
 - ・公共交通の利用を促進するため、県内路線バスの時刻や経路等に関する情報を一元化したデータベースの維持・運営

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	人	23.7	22.7	↘	—	—	22.7	/	地域間幹線バスの利用者を維持するため、1日当たり輸送量を成果目標に設定	
②	市町村による地域公共交通計画の策定件数（累計）	件	19	20	↗	22	↗	24	/	市町村の公共交通に対する取組を促進するため、地域公共交通計画の策定件数を成果目標に設定	
③	地域連携ICカード導入費への支援受入地域数	地域	—	—	—	—	—	1	/	公共交通機関のキャッシュレス化を推進するため、地域連携ICカード導入に対する支援受入地域数を成果目標に設定	

5 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		4.0
	(要求)		804,615		804,615	745,924	
R4年度	25,484	619,066	835,211	1,479,761	569,620	4.0	
R3年度	42,112	661,624	1,415,883	2,119,619	622,022	2,016,746	4.0

事業番号	02 06 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	バス等振興対策事業費		部局	企画振興部	課・室	交通政策課

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
1	地域間幹線バス路線確保維持事業	301,467 千円	271,222 千円	(予算案) (要求) 398,899 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金	補助金	地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 補助件数（想定）：7件（7者 29系統）、補助総額：160,324千円		
2	地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金	補助金	地域間幹線バスのバリアフリー化、老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 補助件数（想定）：2件（2者 16台）、補助総額：18,378千円		
3	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化を図るため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与 購入台数（想定）：7台、購入総額：220,197千円		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
2	運輸事業振興助成補助金	310,595 千円	317,258 千円	(予算案) (要求) 317,258 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、長野県バス協会・長野県トラック協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して助成 補助件数（想定）：2件（2者）、補助総額：317,258千円		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
3	公共交通乗換案内サイト構築事業	3,468 千円	1,980 千円	(予算案) (要求) 1,980 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州ナビを活用したデータ分析事業	委託	データ分析機能を活用しデータを収集、集計するためのサーバ及びGPS情報や操作情報を蓄積するためのストレージの保守・運用 保守運用期間：12ヶ月		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
4	みんなのタクシー利活用促進事業	3,600 千円	6,600 千円	(予算案) (要求) 21,600 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	タクシー事業支援総合交付金	補助金	タクシー事業者の経営基盤を強化するため、事業者の運転手確保やバリアフリー化のための取組等を支援 UDタクシー導入補助台数（想定）：6台		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
5	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	737 千円	738 千円	(予算案) (要求) 743 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	直接	地域交通の課題解消を促進するため、市町村に対して暮らしの足の最適化促進の他、観光交通の充実等、多様な連携に対する助言等を行う専門家を派遣 専門家派遣市町村数(想定):3市町村	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
6	地域公共交通最適化推進事業	14,157 千円	21,268 千円	(予算案) (要求) 32,959 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	公共交通における公設民営化検討事業	負担金	交通事業者・国・市町村等とともに、公設民営化を含む持続可能な地域公共交通の確保に向けた仕組みを検討 負担金額:15,959千円	
2	地域公共交通計画策定支援事業	補助金	地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画策定に係る費用を支援 補助件数(想定):2地域、補助総額7,000千円	
3	公共交通情報オープンデータ活用事業	委託	公共交通の利用を促進するため構築した県内路線バスの時刻や経路等に関する情報を一元化したデータベースの維持・運営 データ更新に係る研修会開催数(想定):2回	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
7	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業	27,600 千円	0 千円	(予算案) (要求) 31,176 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	地域連携ICカード導入支援事業補助金	補助金	県内公共交通機関におけるキャッシュレス化を推進するため、地域連携ICカードの導入に係る費用を支援 補助件数(想定):1件、補助総額31,176千円	